

第3回忍性さん勉強会概要報告

- ◇開催日時 平成28年8月9日(火)10時~12時
- ◇会場 奈良教育大学次世代教員養成センター モデル教室
- ◇参加者 石田(済美小)、山下(伏見小)、駿河・今中(西大寺北小)、
北村・中澤(奈良教育大学)
- ◇テキスト 『忍性』松尾剛次、ミネルヴァ書房、2004年
- ◇内容

【忍性さんへの迫り方】

1. 遺骨を3つに分けたというところが、子どもにとって不思議に思うところ。
極楽寺、額安寺、竹林寺
竹林寺：行基へのあこがれ 行基さんを通して忍性さんに迫る
2. 浄土寺の住職にインタビューして、なぜ、絵本を作ったのかを聞き取るのはいい。
3. なぜ、特別展をしようと思ったのか、吉澤先生にインタビューするのもいい。
西大寺北小：9月6日に博物館に行くので、15分程度話をしてもらう機会に、聞き取りをする。
西大寺にインタビューに行くというのでもいい。
4. なぜ、DVDをつくらうとしたのかを、綿谷さん(読売テレビ)にインタビューするのもいい。
南こうせつさんになぜ、忍性さんの歌をつくったのかを問い合わせてもいい。
5. 「馬の耳に念仏」という言葉があるが、忍性さんは馬にも仏名をとなくて聞かせた。
6. 忍性さんが造った橋などを資料として使えないか。
7. 北山十八間戸もつかえるのではないか。
8. 十念寺もインタビューにつかえる。
9. 十種の請願 読めないけれども、まず本物(映像)を見せた方がインパクトがある。吉澤先生に依頼してみる。

【伏見小学校の学習指導案の検討】

総合で「福祉」をテーマとした学習を考えている。

単元：福祉について学ぼう(『道徳』わたしたちにできること)

福祉を支える「愛」について考える

- ・忍性の行動は、母をはじめとする人々への愛であるといえる。現代の福祉に携わる人の原動力も愛だということに気づかせたい。
- ・サポートできている子と明らかに避けている子がいる。
- ・忍性の行動を支えた考え方：十種の請願
- ・現在の福祉を考えるひとつの切り口として忍性さんを教材とする。
- ・日本のマザーテレサと言われるのはなぜか。

忍性さんは切り口なので、まず、パラリンピックもあるので、現代の福祉をテーマとした学習を導入にしたのち、800年前に福祉活動をしていた人として忍性を取り上げ、十種の請願などを通じて、「愛」に迫る。また、マザーテレサとの比較をとして「愛」についての理解を深め、現代の福祉について考える。気づける力を養いたい。

社会福祉に従事する人々の思いを聞き取る。それを通じて「愛」があることに気づかせる。

- ・単元の目標については、4 観点にまとめた方がいいのでは。順番も。
- ・評価規準について 技能について 調べたことのまとめ方も記載する。
思考・判断・表現 一つでいい